

志あわせ

夏号

Shi-a-wa-se-e



切り絵：米子がいな祭／紙原四郎氏（とっとりいきいきシニアバンク登録）

第235号

令和3年
7月1日発行



主 な 項 目

- 今日之眼 鳥取県老人クラブ連合会 会長 岡森 裕 2
- 市町村トップセミナー ～鳥取県災害福祉支援センターの創設にあたって～ 2
- えんくろ事業 令和2年度事業報告 3
- 社会福祉法人による「地域における公益的な取組」紹介 4～5
- 福祉の就職フェアとっとり2021夏（第1回） 6
- 福祉の就職フェアとっとり2021夏（第2回）を開催します！ 6
- 介護職就職支援コーディネーターがあなたの就職をお手伝いします！ 7
- 未経験者歓迎！「介護助手」募集中！ 7
- 鳥取県保育士・保育所支援センターについて 8
- 令和3年度 介護の入門的研修 8
- あなたもあいサポーターになりませんか？ 9
- とっとりボランティアバンク 9
- 社会福祉施設なんでも相談をご利用ください 10
- 交通遺児激励金のご案内 10
- 賛助会員を募集しています 12
- 令和2年度 苦情受付状況について 13
- 令和2年度 事業報告 14～15
- 赤い羽根共同募金 16
- ありがとうメッセージ～ NHK歳末たすけあい～ 16

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修・会議等中止・延期しているものがあります。詳しくは鳥取県社協ホームページ（<http://www.tottori-wel.or.jp>）でご確認ください。

「視覚障害者用活字読み上げ装置」に対する、活字文字をコード化した「SPコード」を掲載しています。



「地域福祉への参画を」

鳥取県老人クラブ連合会 会長
岡森 裕



地域住民、事業者及び福祉活動を行う人びとによる相互の協力や活動への参加によって地域福祉の推進を図るため、平成12年に社会福祉法が制定され、さらに平成30年には各市町村における地域福祉計画は内容を充実し、任意から努力義務となつて、必要な措置を講ずることとなりました。

これを実現するためには、地域における実践の場、組織が必要となり、受け皿となる地域コミュニティが必須の条件となつて参りました。

しかしながら、各種の団体や町内会などは弱体化し、共同、共生の意識は希薄になってきており、多くの人は市部に勤務し、昔の地域感覚はなくなってしまいました。

もう一つの大きな課題は、地域住民が福祉の問題を自分のこととして捉え実践していくこととありますが、近年「役は受けたくない」「地域への参加はしたくない」という風潮が広がっています。

地域の拠点が出来れば、相談の窓口としてあらゆる福祉支援の必要な案件を早期に開知し、必要な支援につなげていくことができます。

住み慣れた地域で全ての人が自分らしく安心して生活を送るために、住民みんながそれぞれの役割を持ち、支え合いながら暮らしていける地域にしていきたいと考えております。皆さんがもっと地域福祉に関心を持ち、参画して頂きたいと思っております。

市町村トップセミナー

鳥取県災害福祉支援センターの創設にあたって

鳥取県は、鳥取県中部地震で生活復興がままならない被災者一人ひとりに寄り添い、官民が連携して生活復興支援(鳥取県版災害ケイスマネジメント)を実践するとともに県危機管理条例に関連規定を設けて全県展開を進めることとしております。

そこで本年4月より全国に先駆けて「鳥取県災害福祉支援センター」を鳥取県社会福祉協議会内に設置し、平時から災害ケイスマネジメントの推進体制の整備や鳥取県災害派遣福祉チームの組成と研修等を進めることとなりました。

センターの創設にあたり、SDGsの理念にある「誰一人取り残さない持続可能な地域社会づくり」の実現に向けて、災害ケイスマネジメントの取組みの方向性や本県における実践について共有し、県内の地域福祉の推進に資するため「市町村トップセミナー」を5月24日にオンラインで開催しました。市町村長をはじめ、市町村社協会長など48名の参加がありました。



全国社会福祉協議会副会長
古都賢一氏

念との関係の話や、「全社協福祉ビジョン2020」や「全社協災害時福祉支援活動に関する検討会提言」を基にこれからの福祉関係者の進む方向や、災害福祉支援センターを設置する意義、重層的支援体制整備事業が意図していることなどについてお話いただき、参加者からはとても参者になったという声が多くありました。

次に、鳥取県危機管理事務局 西尾局長より、鳥取県災害福祉支援センターの目的と業務を説明され、続いて当センター白鳥特任参事より、災害ケイスマネジメントの実践と福祉的支援について、鳥取県中部地震後の実践を基に報告を行いました。

災害に備え、平時から体制整備を進めていくためには、防災と福祉等が連携して進める必要があります。また、平時の訪問活動や他機関とのケイスマネジメント等が災害時にも機能することが、被災者一人ひとりの生活復興支援に重要になります。県社協では災害福祉支援センター等を通じて、日頃より、自治体の防災、福祉部局や市町村社協等と連携しながら、誰一人取り残されない、地域共生社会の実現に向けて取り組んでいきます。

えんぐるり事業

(生計困難者に対する) 相談支援事業)



昨年度は新型コロナウイルスの影響により、失業や減収となった方への支援が多く見受けられるようになり、もともと低収入や多重債務などの生活課題を抱えている方が多く、新型コロナウイルスによってその課題が顕在化してきています。

総合相談・支援機能強化事業

● 相談員 83名

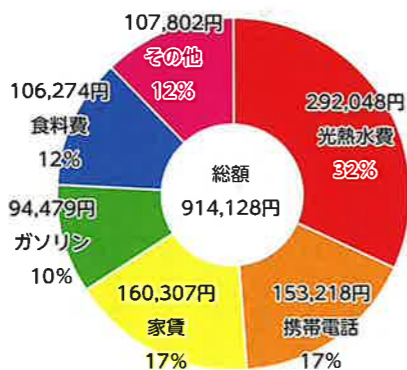
● 相談受付件数 497件

● 経済的支援件数 (令和2年 416件)

令和元年 50件 914,128円
令和元年 50件 863,022円
件数は減少していますが、支援金額は増加していることから、支援1件あたりの支援金額が増額していることが分かります。

支援内容のうち、特に携帯電話代やガソリン代が増加傾向にあります。これらは就職活動や就労を継続していくうえで、連絡手段や交通手段として必要となっており、就労意欲は

【経済的支援の内訳 (令和2年度)】



ありながらも、こうした費用の工面に課題を抱えている方が増えています。新型コロナウイルスの収束が見通せない中、生計困難者は今後さらに増えていくことが想定されます。総合相談・支援機能強化事業では、関係者が連携し既存の制度の狭間にある課題に対応しつつ、その後の自立に向けてきめ細かな支援を行います。

社会資源開発事業

● 子ども食堂

「たちかわ子どもクラブ」

- 主体法人 鳥取子ども学園
- 協力法人
- 鳥取県厚生事業団、鳥取市社協、鳥取県共同募金会、鳥取県社協
- 開催日 毎月第4木曜日
- 利用者 延べ584人

※新型コロナウイルスの影響で会食を休止し、弁当の配布を行った。

「琴浦にっこに食堂」

- 主体法人 琴浦町社協
- 協力法人 立石会、赤崎福祉会
- ※当初会場を2か所に増やし開催を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により開催休止。

● 子ども服リユース事業

- 子ども服リユース譲渡会
- 参加法人 南部町社協
- 開催日 10月1日
- 参加者 11組(予約制)

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で各事業の実施が難しいなか、たちかわ子どもクラブでは弁当の配布へ形態を変更しての実施、南部町社協では予約制による子ども服リユース譲渡会を開催するなど、工夫を凝らして実施されました。いずれも予約ですぐにいつぱいになるなど、ニーズの高さがうかがえます。

コロナ禍においては、地域の様々な課題が顕在化することが想定され、課題解決に向けて多様なサービスが求められます。社会資源開発事業では、各参加法人が連携して必要とされるサービスを新たに創出し、事業として展開します。

【令和2年度えんぐるり事業決算書】

[収入]		[支出]	
科目	決算額	科目	決算額
分担金収入	2,405,000	事務費	1,092,149
雑収入	47,008	支援事業費	1,153,614
収入合計	2,452,008	支出合計	2,245,763

令和2年度収支差額 206,245円 + 前年度繰越 4,206,352円 = 次年度繰越 4,412,597円

社会福祉法人による「地域における公益的な取組」紹介

社会福祉法において、社会福祉法人の責務化とされている「地域における公益的な取組」について、県内の社会福祉法人の取組をシリーズで紹介しています。

今回は、社会福祉法人若桜町社会福祉協議会と八頭町社会福祉協議会の取組を紹介します。

若桜町社会福祉協議会

除雪ボランティア事業

単身世帯や高齢世帯など、豪雪時に除雪困難な世帯を対象に、ボランティアによる除雪支援を行っています。ボランティアは事前登録制で募集し、台帳管理とボランティア活動保険の加入手続きを行います。若桜町民に対して広報し、支援のニーズとボランティアとのマッチングを行います。除雪支援当日は社協職員も同行し、除雪支援やチームの指揮を

行います。支援に関する費用は無料、必要経費は町社協が負担しています。

取組の目的・経緯

平成18年当時、若桜町で単身世帯や高齢世帯が増加していた背景から、豪雪時に除雪困難な世帯が多くあることを地域課題として捉え、当初は社協職員のみで除雪支援を行っていました。

翌年度（平成19年度）より、活動規模を拡げる目的で事前登録制のボランティアによる除雪支援（職員がコーディネーター）へ拡充し、現在は鳥取県外からもボランティア登録者が毎年あり、除雪の事前相談が住民さんから寄せられるなど、地域に浸透してきている事業となっています。

取組の成果や課題

豪雪時の除雪は、若桜町では毎年必ず直面する課題であり、支援を利用される方からも多くの感謝の声をいただいています。事業開始当初と比べ、高齢者世帯は更に増加しており、自助（親類のフォローを含む）による除雪、そして、全体的な人口減と

高齢化により共助による除雪も困難になりつつあります。また、ボランティアの活動可能日が土日集中する傾向が強く、支援のスピード感が求められる場面の対応と、職員の負担が課題となっています。

活動者コメント

・新聞やインターネットの影響で県外・町外からボランティア登録者数は安定してきているが、除雪支援について住民さんへの周知はまだまだ満足いくものではないので検討していきたい。

（事業担当者）

・県外から初めて若桜町に来て活動したが、住民さんとも距離感近く関わることができて充実感があった。また来年も登録したいと思う。

（県外からのボランティアさん）

利用者の声

自分一人では何ともならない雪だったので本当に助かった。家族も遠くに住んでいるのでありがたい。

会の活動が広がるともに、活動への負担が低減されています。

まとめ・今後の展開

地域実習により、実習生にとっては地域や高齢者に対する理解を深める機会となり、まちづくり委員会にとっては地域への愛着や誇りを高め、実習生の力を得て地域活動の枠を広げることにつながっており、地域実践基盤にして当事者と直接関わりあう学習は、双方に好影響を与える有効な取組となっています。

今後こうした取組の検証と福祉学習プログラムを進め、地域や学校でプログラムを展開することにより福祉意識を高めていくことを目指します。

また、福祉学習プログラムにより障がい者等当事者の地域活動への参画が促進され、相互理解がさらに進むことも期待できます。

八頭町社会福祉協議会

専門学校の地域活動への参画

地域実習の受け入れ調整をとおして

取組の経緯・内容

平成27年度に八頭町下私都地区で鳥取市医療看護専門学校生のボランティアを受け入れたことがきっかけで、専門学校と住民主体により地域福祉活動を行うまちづくり委員会とのつながりが生まれ、平成28年度からは本格的にまちづくり委員会での地域実習の受け入れが始まりました。八頭町社会福祉協議会では、まちづくり委員会への受け入れ協力依頼や地域実習マニュアルの整備、受入連絡会の実施など専門学校とまちづくり委員会の調整を担っています。

地域実習では、専門学校生が、まちづくり委員会が行う活動の準備から実施、片付けの一連の作業に参加し、高齢者及び地域住民と関わります。

具体的には、高齢者宅への訪問

やまちづくりカフェの運営、地域の生活環境などを知るためのフィールドワーク、世代間交流などを行っています。

取組による効果・変化

（実習生）

・地域で暮らすことへの想いや地域が互いに支え合って暮らす姿を学ぶことができています。
・高齢者や子どもとのコミュニケーションについて学ぶ機会となっていました。

・地域を大切にしている人やつながり合う地域の姿を目の当たりにし、自らの住む地域や故郷のあり方を意識し、大切にすることを意識し、大切にしています。

（まちづくり委員会）

・地域のことを実習生に伝えることや実習生の学びの振り返りを通じて、自分たちの地域を肯定的にとらえ、まちづくり委員会活動の重要性を確認する機会となり、誇りや愛着、自己有用感、活動意欲が高まっています。

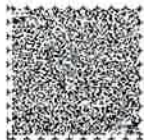
・高齢者訪問の開始、世代間交流やカフェの充実、フィールドワーク実施などまちづくり委員



事例提供法人
社会福祉法人八頭町社会福祉協議会
本部所在地／八頭郡八頭町宮谷254-1
電話番号／0858(72)6210
FAX番号／0858(72)2203
法人HP／<https://yazu-syakyu.or.jp/>
他に実施している公益的取組／
生計困難者に対する相談支援事業（えんくるり事業）、八頭町フードサポート事業



事例提供法人
社会福祉法人若桜町社会福祉協議会
本部所在地／鳥取県八頭郡若桜町若桜1247-1
電話番号／0858(82)0254
FAX番号／0858(82)1204
法人HP／<https://wakasa-syakyu.wixsite.co/home>
他に実施している公益的取組／
公的サービスで対応できないニーズに対しての横出しサービス



オンライン形式で開催！
福祉の就職フェアとっとり2021夏（第1回）

2020年から続くコロナ禍は福祉分野の就職活動にも大きな影響を及ぼしています。感染防止のため見学・職場体験の施設側の受入が難しくなり、県外学校在学中の学生は帰省することがなかなかできません。就職活動の機会の確保が課題となっています。

本会では県内で社会福祉施設を運営する法人と、福祉職場で就職を希望する学生・一般の求職者による合同就職説明会「福祉の就職フェアとっとり」を毎年開催しています。今年も5月に対面式で開催する予定でしたが、県内外での感染拡大状況を考慮し、オンライン形式に変更しました。WEB会議システムを用いて、法人側は各事業所から、参加者側は自宅や学校からPCやスマートフォンなどを通じて参加することができます。【東中部地域】は5月23日（日）、【西部地域】は5月29日（土）に開催しました。

で担当者が事業説明と質疑応答を行います。【東中部地域】は19法人、【西部地域】は20法人の担当職員が、PDFデータやパワーポイントの画面を共有しながら自法人の魅力や働きやすさ、採用条件などを説明しました。

一方で参加者（就職希望者）は主に介護職、保育士、相談員志望の方など【東中部地域】がのべ211人（実人数48人）、【西部地域】がのべ62人（実人数30人）と多くの参加がありました。翌年3月に卒業を控えた学生が多く、法人担当者の説明を受けてチャット欄等で質問を投げかけていました。

コロナ禍の厳しい時代ですが、本会では今後も法人と求職者のマッチングに努めてまいります。



介護職就職支援コーディネーターがあなたの就職をお手伝いします！

鳥取県福祉人材センターは、社会福祉法に基づき県知事の指定を受けて、福祉関係の人材確保と人材養成などの事業を進めるため鳥取県社会福祉協議会に設置されています。福祉のお仕事をお探しの方であればどなたでもご利用が可能です。お仕事の紹介、職種や資格に関するご相談など、すべて無料でご利用いただけます。無料職業紹介事業については、職業安定法に基づき厚生労働大臣の許可を得て実施しています。（認可番号：31-ム-010001）

介護分野では、二人の就職支援コーディネーターが、相談から職場見学、採用申し込みから採用後まで、求職者に寄り添い定着に向けその人に合った事業所や働き方の相談等支援しています。



東部地区担当の
金山コーディネーター

中・西部地区担当の
宮本コーディネーター

最近「丁寧に対応してもらった」と口コミで相談者が増えています。

なお、新型コロナウイルスの影響で離職された方で、資格を活かして復職したい、介護の仕事は未経験であるが新たに福祉の職場に就きたいという方もぜひご相談ください。

問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336

未経験者歓迎！「介護助手」募集中！

「介護助手」とは、高齢者施設で部屋の掃除や食事の配膳・片付け・ベッドメイク、シーツ交換、趣味活動の手伝い、話し相手など、介護の補助的な仕事を担っていただく方で、介護や医療分野でのお仕事の経験のない方でも始めることができ、シニア世代の新しい働き方として注目されています。地域社会の貢献になるだけでなく、働きながら介護を学ぶことで、ご自身の健康維持、介護予防、認知症予防にもつながります。

介護助手の仕事内容やインタビューを掲載した介護助手リーフレットを鳥取県社会福祉協議会のホームページで公開しておりますのでぜひご覧ください。

問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336



福祉の就職フェアとっとり2021夏（第2回）を開催します！

上記でご紹介した5月の第1回に引き続き、「福祉の就職フェア」を夏期に再び開催します。福祉のしごとに興味がある方、未経験の方もサポートしますので、ぜひご参加ください。詳細は県社協ホームページ等でお知らせします。

対面式の開催を予定していますが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、第1回同様にオンライン形式への変更、または延期・中止の可能性もあります。

- 東・中部会場 令和3年7月25日（日）13:15～16:00 県立福祉人材研修センター ホール（鳥取市）
- 西部会場 令和3年8月7日（土）13:15～16:00 米子コンベンションセンター 多目的ホール（米子市）

福祉の就活データベース（2022年新卒採用版）を御活用ください

本会では、昨今の新型コロナウイルスの影響により就職活動が困難になっている福祉職の志望学生を応援する「とっとり福祉のオンライン就活応援事業」を実施しています。その一環として、県内で福祉事業所を運営する各法人の来年度（2022年）新卒者向けの採用情報（募集職種、人数、試験等日程）をまとめた「福祉の就活データベース」を掲載しています。学生の皆様も保護者の方でもぜひ御活用ください。

掲載法人も随時募集していますので、希望される場合はお問い合わせください。

●とっとり福祉のオンライン就活応援事業専用ページ

<http://www.tottori-wel.or.jp/p/jinzai/7/>



パソコン修理～ 介護ソフト～ 伝送設定～

OA機器 リース メンテナンス
有限会社 松本事務機

鳥取市千代水2丁目117番地 ☎0857-31-6661
<http://values.main.jp> FAX 0857-31-6662

問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336 FAX (0857) 59-6341



あなたも あいサポーター になりませんか？

あいサポーター研修の受講もしくは自主学習を実施して『あいサポーター研修実施報告書』を提出いただくとバッジが配布され、あいサポーターになることができます。

ご希望の日時に合わせて、あいサポーター研修の講師を派遣することも可能です

地域や職場で行われる研修や、イベント、PTA等の会合など、様々な場面で実施できます。

＜研修申し込みの流れ＞

①あいサポーター研修申込書に必要事項を記入し、開催日の**1カ月前**までに鳥取県社会福祉協議会へ送付してください。

②研修主催者へ研修決定通知書、研修物品を送付します。

③ご希望の日時、会場へあいサポートメッセージ（研修講師）を派遣します。

※講師謝金や物品等の費用負担は一切ありません。少人数・オンライン（Zoom利用）での開催も大歓迎です。まずはお気軽にお電話ください。



問い合わせ先 福祉振興部 ☎0857-59-6344



保育現場で長く働き続けられるサポート 鳥取県保育士・保育所支援センター

鳥取県保育士・保育所支援センターは、鳥取県内の保育士確保を目的とし、平成28年4月に鳥取県社会福祉協議会に設置されました。学生や一般の方の就職支援をはじめ、保育者の職場定着促進に向けた支援や保育に関する情報発信など様々な事業を無料で実施しています（鳥取県委託事業）。

対象職種

保育士、保育教諭、幼稚園教諭、子育て支援員 など

令和3年度の新たな取組みがスタートします！

6年目を迎えたセンターでは従来の事業に加え、「保育の未来人財を呼び込む魅力発信事業」を新たに実施します。保育・保育士の魅力を保育現場の皆さんと一緒に発信していきます！

【主な内容】

- **見て！聞いて！魅力ある私たちの職場 保育の魅力発信フェス**
潜在保育士や学生を対象とした保育施設の魅力を紹介する職場説明会。
- **「鳥取県版ようこそ先輩！」事業**
若手の現役保育士による出前講座。高校段階で保育職についてよく知ってもらうことで、保育士をめざす学生が増え、ミスマッチの解消にもつながります。
- **保育のおしごと体験事業**
潜在保育士や学生を対象とした保育現場での就業体験。体験を通じて就職後イメージしやすくなり、将来的な就職につなげます。

開催予定
令和3年
8月14日(土)
倉吉体育文化会館
※詳しくはFacebook等
でお知らせします。



【お問い合わせ】鳥取県保育士・保育所支援センター

〒689-0201鳥取市伏野1729-5 TEL 0857-59-6342 FAX 0857-59-6341
メール hoikucenter@tottori-wel.or.jp 利用時間/月～金 8:30～17:00（祝日、年末年始は除く）

・ボランティアの力を借りたい ・誰かのために力になりたい そんなときは…

とっとりボランティアバンク

ご登録
ください！

登録すると何ができるの？



ボランティアしたい人（団体）

ボランティア募集情報や関連講座・研修などの情報を受け取ることができます。



ボランティアの力を借りたい団体

HPやメルマガを通じて、ボランティア募集や関連講座・研修などの情報を発信できます。

なぜボランティアが必要なの？



現在の災害支援だけでなく、オリンピックやねりんピック（鳥取県開催）など、将来的にも**ボランティアの活躍の場**が見込まれており、多くの人の力を必要としているからです。

どんな活動があるの？

※過去の活動の一例です

災害支援

豪雨や台風で被災した地域では土砂の除去や家具の運び出し等を行いました。

生活支援

話を聞いたり外出を支援したり、大雪の時は雪かきなど様々なボランティア活動を行っています。

ご登録・ご利用は
全て**無料**です。

登録方法
登録票に必要事項を記入のうえ、
FAX、Eメール、郵送等で送付してください。
HP：<http://www.torivc.jp/>
※HPから直接申込可能！



鳥取県ボランティア・市民活動センター
キャラクター「はーちゃん」

【お問い合わせ・ご相談は】

福祉人材部 鳥取県ボランティア・市民活動センターまで TEL：0857-59-6336 FAX：0857-59-6341
ボランティアに関するお悩み・ボランティアの募集や関連講座の情報等お気軽にご相談ください！

問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336

令和3年度 介護の入門的研修

介護に関心がある方を対象に、介護に必要な知識や技術を学んでいただくための研修です。経験がない方にも、介護の基礎を講師がわかりやすくお伝えします。

介護する人・される人が、お互いを支え合いながら安心して生活するにはどうしたら良いかなどを、考えるきっかけをつくってみませんか。

- **対象者** ○ 介護に関心がある方
○ これから介護の職場に就職を希望される方
○ 介護助手（介護補助等）として就業されている方
※ 家庭介護に関心のある地域住民の方、学生の方 など

受講生
募集中！

受講料
無料

東部 (県立福祉人材研修センター)	8/4(水)、8/11(水)、8/19(木)、8/25(水)、8/26(木)
中部 (倉吉未来中心、上灘公民館)	7/24(土)、7/31(土)、8/7(土)、8/21(土)、8/22(日)
西部 (米子市文化ホール)	6/24(木)、6/30(水)、7/8(木)、7/14(水)、7/15(木)

- **開催日** 各会場 5日間
- **定員** 各会場 30名
- **申込締切** 開催初日の1週間前までにお申込みください（定員になり次第締め切ります）

※地震や台風、感染症などやむを得ない事情により研修会を延期・中止せざるを得ない場合があります。本会ホームページ等でご確認ください。

日程・申込方法等研修の詳細については、本会ホームページをご覧ください。

問い合わせ先 福祉人材部 ☎0857-59-6336

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり)

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは
コチラ



(ふくしの保険
ホームページ)

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間:平日の9:00~17:00
(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間:平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

社会福祉施設なんでも相談 をご利用ください

鳥取県社会福祉協議会では、社会福祉法人の経営、福祉施設の運営に係る相談に応じるため、専任経営指導員及び専門経営指導員を設置しています。

メール、電話、来所等により、迅速、親切、正確に相談に応じますので、お気軽にご利用ください。相談内容の秘密は厳守いたします。相談は**いずれも無料**です。

一般相談 …… 経営全般についての相談 (専任経営指導員)
専門相談の受付

毎週月曜日~金曜日の午前8時30分~午後5時

専門相談 …… 法律相談 (房安強弁護士)
会計・税務相談 (池原浩一公認会計士)
労務・保険相談 (長谷川誠社会保険労務士)



相談内容

- 施設経営…社会福祉法人の設立、法人・施設運営、社会福祉法人制度改革等
- 利用者処遇…利用者サービス、住環境、私物・預り金の取り扱い等
- 職員待遇・労使問題…就業規則、労働条件・環境、労使関係等
- 会計・税務…経理規程、予算・決算、会計処理、資産管理、会計基準等
- 安全・衛生管理…防災、事故防止、衛生管理、事故補償、メンタルヘルス等

問い合わせ先 福祉振興部 ☎0857-59-6344

「交通遺児激励金のご案内」

鳥取県社会福祉協議会では、交通事故によりかけがえのないお父さん、お母さんを亡くされた交通遺児 (当年度高等学校卒業まで) の方に対する激励金の支給事業を行っています。

対象世帯の所得制限はありません

- ▶父母 (「養子縁組をした場合にあっては、養父母とする」以下同じ) 又はそのいずれかが交通事故により死亡、又は父母が重度の後遺症を存することとなった者 (父母のいずれかが交通事故により死亡した後において、その配偶者が再婚した場合を除く。但し、当年度内に限り該当する。)
- ▶父母が死亡した後に、その他親族等に扶養されていたもので、当該親族等が交通事故により死亡、又は当該親族等が身体に重度の後遺症を存することとなった者

◆激励金支給基準 (1人につき)

- ①翌年度4月に小学校入学予定の幼児 …… 50,000円
- ②翌年度4月に中学校入学予定の児童 …… 50,000円
- ③当年度末に中学校卒業予定の生徒 …… 50,000円
- ④その他の児童・生徒 (①~③以外) …… 20,000円
- ⑤乳幼児 …… 20,000円
- ⑥当年度末に高等学校卒業予定の生徒 …… 70,000円
- ⑦高校1・2学年の生徒 …… 30,000円



寄付金を受け付けています

問い合わせ先 福祉振興部 ☎0857-59-6344

賛助会員を募集しています

本会では、地域福祉の推進とみんなでつくる福祉社会の実現に向けて、“県民参画による福祉のまちづくり”“安心して暮らせる仕組みづくり”“福祉を担う人づくり”を中心に地域の様々な機関・団体と連携して、安心して暮らせる地域社会をめざしています。本会の趣旨をご理解いただき、会員としてご支援、ご協力をくださいますようお願い申し上げます。

会費（毎年度） 団体 一口：10,000円
個人 一口：3,000円



新規会員様ご紹介（令和3年6月30日現在）※順不同

日本郵便株式会社因幡地区連絡会 様 学校法人あけぼの幼稚園 様
株式会社藤原組 様 医療法人社団野坂歯科医院 様
有限会社あっぷるはうす 様 小林住宅有限会社 様
ヤマタホールディングス株式会社 様 池田外科医院 様
学校法人鳥取家政学園 様 一般社団法人生命保険協会鳥取県協会 様
株式会社中電工鳥取統括支社 様 スキルウェイ協同組合 様
医療法人社団春陽会みなみ歯科医院 様 日本たばこ産業株式会社鳥取支店 様
株式会社愛進堂 様 一般社団法人鳥取県薬剤師会 様
岡本日出夫 様 波多野和雄 様 坂本 直 様 中尾 圭介 様
豊島 良太 様 谷口 雄史 様 馬場崎 仁 様 山田 一孝 様
河上 直樹 様 田中 弘美 様 泉 栄治 様 山根 真 様
有田 義之 様 徳田登志子 様 石原啓一郎 様 岸田 孝之 様
笠田昭四郎 様 中家 康志 様 大江 達志 様 松島 雄一 様
高橋 紀子 様 藪田千登世 様 西尾 浩一 様
ご入会いただきありがとうございました。

御寄付御礼（令和3年6月30日現在、順不同）

御寄付を賜り誠にありがとうございました。御意志に従い活用させていただきます。

【交通遺児福祉基金】への御寄付（県内の交通遺児への激励金を支給します）

鳥取県中古自動車販売協会 会長 富山 孝司 様
日ノ丸エネオス給油所部会 会長 中村 徹雄 様
株式会社アミパラ 代表取締役 筒井わかよ 様

【地域福祉振興基金】への御寄付（生活困窮者に対する支援など、地域福祉の推進を支援しています）

鳥取県立白兔養護学校 校長 藤田 則恵 様

【DV被害者支援金】への御寄付（DV被害者の方へ自立支援金を給付します）

国際ソロプチミスト米子 会長 大江 忍 様



令和二年度 苦情受付状況について

福祉サービス運営適正化委員会

社会福祉法の改正により福祉サービス運営適正化委員会が設置されてから令和二年度で二十年となりました。令和二年度に受付けた苦情・相談件数は百十四件に上り、前年度比一・五倍と多くの苦情・相談が寄せられました。

特徴としては、障がい者施設や高齢者施設の利用者・家族からの申出が多く、サービスの内容や権利侵害、説明・情報提供に関する苦情が多くなっています。

特に障がい者就労継続支援事業所利用者からのメールや電話相談が非常に多く、サービス提供者の説明不足によるトラブルや新型コロナウイルス対策のマスク着用に係るトラブル等も生じています。

本委員会では、福祉サービス利用者の申出を受け、必要な助言、調査などを行い、双方の話し合いによる解決の促進に努めています。

皆様の更なる御理解と御協力をお願いいたします。

【苦情の内容】

区分	R2	R元
職員の接遇	6	11
サービスの質や量	22	12
説明・情報提供	7	2
利用料	6	2
被害・損害	2	4
権利侵害	10	9
その他	0	1
計	53	41

【施設種別と申出人の属性】

施設種別	利用者		家族		代理人		職員		その他		合計		
	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	計
高齢者	2		5								7	0	7
障がい者	37	58	3			1		1			40	60	100
児童			3								3	0	3
その他	3	1									3	1	4
R2年度計	42	59	11	0	0	1	0	1	0	0	53	61	114
R元年度計	23	26	15	6	1	0	0	1	2	2	41	35	76

問い合わせ先 福祉サービス運営適正化委員会 0857-59-6335

MORRIX JAPAN Corp.



私たちは人にやさしい快適環境を創造し、未来をデザインするヒューマン企業です。

介護・自立支援・栄養管理・勤怠・給与・会計・セキュリティシステムから介護用品まで介護現場をトータルでサポート致します。
お客様の環境と問題点をお聞きし、事務の効率化、介護現場の効率化を共に考え最適なシステムをご紹介します。

■ 当社の取扱い介護・自立支援・栄養管理システムメーカー ■

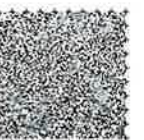
ND ソフトウェア株式会社（ほのぼの NEXT）
株式会社 ワイズマン
株式会社 東経システム（福祉見聞録）
株式会社 日立システムズ（福祉の森）
株式会社 コーエイコンピュータシステム（EIBUN）

株式会社 モリックスジャパン

本社 〒680-0912 鳥取県鳥取市商栄町 203-6
TEL 0857-23-3641 FAX 0857-22-3329

倉吉店 〒682-0807 鳥取県倉吉市幸町 529
ユーミーレジデンス1-3号
TEL 0858-24-5451 FAX 0858-24-5452

モリックスジャパン



問い合わせ先 総務部 ☎0857-59-6331

基本方針

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、生活福祉資金のコロナ特例貸付を年間を通じて実施するとともに、感染拡大の状況に対応し、会議、研修等のオンライン実施など事業内容の変更、見直し等も行いながら、中期計画の最終年として、以下の6つの重点目標の達成に向け、役員一丸となって取り組みました。

重点目標①

住民の主体的参加による地域福祉の推進

- 地域におけるネットワークの形成
 - 市町村社協の活動支援
 - 高齢者の生きがいと健康づくり事業の推進
 - とっとりいきいきシニアバンク事業の推進
 - 民生委員・児童委員活動の推進支援
- 令和3年4月に施行された「重層的支援体制整備事業」制度の啓発をはじめ、「あつたかハート」おたがいさま事業「エスエヌマップ」の取組を通じて、住民が自分たちの住む地域のことについて話し合う機会を増やし、支え合いの基盤となる住民意識の醸成と、支援を必要とする人を早期に見出し住民同士の支え合いの仕組みづくりを進めました。
- コロナ禍で地域福祉推進活動に携わる方々に向け、感染予防、拡大防止に留意しながら活動を進めていただくため、「つながりをなくさないため」

できること「社協事業・活動に関するチェックリスト」を作成し紹介しました。

福祉活動計画の策定・改定の取組について、行政の地域福祉計画との一体的な策定を促進するための支援等を行いました。

地域における公益的な取組である「えんくるり事業」では、コロナ禍においても相談者等への支援を継続して行いました。

元気な高齢者の技能・特技を最大限に活かして活躍できるシニアバンク事業の推進にも積極的に取り組みました。

重点目標②

福祉学習・ボランティア活動の推進

- 地域に根ざした福祉学習の展開
 - ボランティア・市民活動の振興とボランティアバンクの運営
 - 山陰発 あいサポート運動推進・連携事業
 - 障がい者の福祉に関する事業の推進
 - 児童・家庭の福祉に関する事業の推進
 - 福祉意識の啓発
- ボランティア体験や福祉教育推進セミナーなどの啓発事業をおして若者や高齢者など住民に対して地域の生活・福祉課題に一人ひとりが関心を持ち、主体的に課題を解決する意識醸成に努めました。
- 家庭・学校・地域においてライフステージに応じた福祉学習の支援を通して「ともに生きる」社会の実現につなげる取組をすすめ、今後の福祉教育(学習活動)の推進指針を策定しました。
- コロナ禍においても円滑に災害ボランティア活動が展開できるよう、関係機関で検討し、対応指針を発出するな

ど災害ボランティア活動の支援機能の強化を図り、社協・行政の関係者を集めた災害ボランティアリーダー研修も実施しました。

障がい福祉の理解促進を図るため「あいサポート運動」の推進や障害者の日・障害者週間での啓発を図るとともに、児童家庭福祉の向上のため、生活困窮家庭に対する高校・大学等入学支度金給付事業や児童福祉週間・児童虐待防止推進月間の啓発など県民の支え愛の輪を広げるための意識啓発に取り組みました。

重点目標③

セーフティネット機能の充実・強化

- 生活困窮者の自立に向けた支援体制の充実・強化
 - 地域における総合的な権利擁護推進体制の構築
 - 生活福祉資金借受世帯の自立更生に向けた相談支援機能の強化
 - ひとり親家庭高等就業訓練促進資金貸付事業の実施
 - 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業の実施
 - 苦情解決事業の実施(福祉サービス運営適正化委員会)
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済的に困窮する人・世帯が全国的に急増したことから、社会福祉協議会では、「生活福祉資金貸付制度」の対象を新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯にも拡大し、特別の貸付を実施しました。
- 多くの方が利用され、一時的な生計維持に寄りましたが、依然として新型コロナウイルス感染症の脅威は衰えず、日々の生活に窮する方は増加の一途をたどっています。

重点目標④

福祉人材の養成・確保・定着の支援

- 福祉人材の確保・就労支援
 - 福祉・介護分野の理解促進と人材の育成
 - 修学資金等貸付事業の実施
 - 福祉・介護従事者の資質・能力の向上
- 福祉研究による資質・能力の向上
少子高齢化の急速な進展に伴い、福祉・介護・保育ニーズは増大してきており、それを担う介護や保育など職員の絶対数が不足する状態はさらに深刻化していることから、福祉人材の開拓はもとより、福祉人材の資質向上や職場環境の改善に向けた研修により離職率の低下や職員の定着促進を図るなど、福祉人材確保に資する取組を継続的に進めました。
- 日常的な相談業務窓口に加え、保育

士・保育所支援センター、介護人材確保のためのマッチング機能強化事業のコーディネート等と連携して求職者の就労支援を行いました。

また、新型コロナウイルスの影響で合同説明会等が中止になったことを受け、インターネットを活用した就職活動支援を実施しました。

オンライン就職説明会やWEB版の福祉の就職フェアを実施することで、県外学生の就職活動の機会を確保し、採用に結びつけることができました。

重点目標⑤

社会福祉法人の活動・経営への協力支援

- 福祉施設経営指導事業の推進
 - 社会福祉・保健サービス評価事業の実施
 - 社会福祉団体の支援
 - 民間社会福祉施設職員共済事業の実施
 - 福利厚生事業(福利厚生センター受託事業)の推進
 - 社会福祉法人の地域貢献実施支援
- 社会福祉法人がそれぞれの地域で公益的な役割を發揮し、福祉団体・関係機関との連携強化を含め、生活・福祉課題を解決する仕組みづくりを個別又は協同による取組推進を図ること、また、社会福祉法人の存在感が發揮される県民への認知度が高まるよう、県内の各法人と密接に連携し、協働・支援に取り組みとともに、役職員の資質向上を図る研修の開催や相談、情報収集・情報提供に努めました。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている社会福祉施設・法人について、関係団体と合同で行政に対処策、支援を求める要望活動を行うこと

ともに、寄附された衛生対策資材の配布や対策費用の助成を行いました。

重点目標⑥

職員の資質の向上と財政基盤の充実

- 職員の資質向上
 - 財政基盤の充実
 - 政策提言機能の発揮(制度要望等)
- 県社協職員としてその役割・使命を果たすためには、職員一人ひとりの資質向上は不可欠です。人事考課と育成研修の一体的な推進を図り、必要な知識・技術等の習得に向け、新任職員研修の実施や階層別研修への派遣、職員個々に応じた個別研修計画に基づく研修受講や課題別研修等を行い、県社協職員としての必要なスキル向上に取り組みました。
- 県社協は、収益的組織ではないため、財源の多くを県からの補助・委託事業に求めています。財政基盤を充実させるため、公的財源を確保するための事業の工夫や見直しを図り、県知事、県議会への要望活動を行いました。
- 令和2年度から個人賛助会員の案内募集を開始し、新たな会員加入促進等に取り組み自主財源の増収を図るとともに、基金の活用について事業の動向や運用状況を踏まえて検討し、一部基金の統合・整理と取り崩しを行いました。
- 職場における新型コロナウイルス感染症対策のため、衛生対策を徹底するとともに、分散勤務、在宅勤務の実施、休暇取得の促進など密を避ける措置を講じました。

令和2年度事業活動計算書

令和3年3月31日 (単位:円)

拠点区分	決算額						
	収益(1)	費用(2)	前期繰越活動増減差額(3)	当期末繰越活動増減差額(4) = (1) + (3) - (2)	その他積立金取崩額(5)	その他積立金積立額(6)	次期繰越活動増減差額(7) = (4) + (5) - (6)
社会福祉事業	452,569,240	452,191,562	△ 6,551,683	△ 6,174,005	53,577,970	43,880,487	3,523,478
公益事業	92,164,385	92,189,518	△ 722,508	△ 747,641	0	0	△ 747,641
収益事業	3,334,494	3,334,494	0	0	0	0	0
一般会計 合計(A)	548,068,119	547,715,574	△ 7,274,191	△ 6,921,646	53,577,970	43,880,487	2,775,837

会計名	決算額						
	収益(1)	費用(2)	前期繰越活動増減差額(3)	当期末繰越活動増減差額(4) = (1) + (3) - (2)	その他積立金取崩額(5)	その他積立金積立額(6)	次期繰越活動増減差額(7) = (4) + (5) - (6)
生活福祉資金会計	2,825,399,833	2,829,112,921	△ 35,146,481	△ 38,859,569	0	3,000,000	△ 41,859,569
要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計	69	69	0	0	0	0	0
生活福祉資金貸付事務費会計	75,538,127	75,142,682	6	395,451	0	0	395,451
臨時特例つなぎ資金会計	128	1,953,167	0	△ 1,953,039	1,953,039	0	0
生活福祉資金事業関連会計 合計(B)	2,900,938,157	2,906,208,839	△ 35,146,475	△ 40,417,157	1,953,039	3,000,000	△ 41,464,118
総合計(A) + (B)	3,449,006,276	3,453,924,413	△ 42,420,666	△ 47,338,803	55,531,009	46,880,487	△ 38,688,281

令和2年度貸借対照表(総合)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
区分	金額	区分	金額
流動資産	2,065,265,256	流動負債	61,748,257
固定資産	5,046,843,907	固定負債	279,262,219
		基金	1,799,759,382
		積立金	5,010,027,586
		次期繰越活動増減差額	▲ 38,688,281
資産の部 合計	7,112,109,163	負債の部 合計	7,112,109,163



じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



令和2年度オリジナルバッジ

令和2年度共同募金結果報告

昨年度は、皆様の温かいご支援をいただきありがとうございました。

お寄せいただきました寄付金は令和3年度に県内の社会福祉施設や小規模作業所、ボランティア団体・NPO法人等が実施する地域福祉活動等の事業に活用されます。

詳細な助成内容等は本会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

<http://www.tottori-wel.or.jp/akaihane/>



倉吉パープルタウンで行った募金活動風景

募 金	
目 標 額	123,363,000円
実 績 額	125,402,762円
達 成 率	101.7%
使 い み ち	
助 成 額	107,311,112円
運 動 経 費	22,439,955円
計	129,751,067円

令和3年度も皆様の温かい御支援と御協力をお願いいたします！

ありがとうメッセージ ～NHK歳末たすけあい～

「おやこ食堂「おかえり」 みんなの食堂「ただいま」
参加者のための、特別イベント企画事業」

おやこ食堂おかえり みんなの食堂ただいま (米子市)

今回いただきましたご寄付は、毎週の弁当配布を継続するために地元飲食店に依頼する弁当代、参加してくれる子どもたちへのクリスマスプレゼントや餅つき大会に使わせていただきました。

コロナ禍で苦境に立たされている地元飲食店の支援、イベントを楽しみにしてくれている子どもたちとの活動を実現することができ心より感謝しております。今後も活動を継続できるよう精進していきたく思います。本当にありがとうございました。

